

た“ いきら、 きた、 すきに してく れた
えんちようせんせ、
えんぶくちほづかしくて けたくながつた。
うちえんじ、 いたくなくて、 まいに ちあさに
なるとな、 いた。
でも、 えんちようせんせ、 はヨロナウイル
スがはやつこ、 とまも、 いつもとがわらす
たのいいことをしてくれた。 いつもみんなが
たのしくすぐせるよにかんがえてくれて、 いた。
ぼくが、 こままわしをうまくできなかつた、 と
ま、 えんちようせんせ、 が、 ぎするよにこゝね
いにおしゃれてくれた。 えんちようせんせ、 が
おしゃれてくれたおかげで、 こまがまわせるよ
うになつてうれしかつた。
ようちえんがたのしくてたのしくてしかた
ががかつた。 まいに ちあずかりほくがつた
かつた。 もつどちつと ようちえんですアシ
かつた。

きないのぼくがせ、ちようじてしょうかくせ
いになつたからだ。と
ようちえんにランドセルをみせにへった
き、えんちょうせんせいはうれしそうにわ
っこいた。
もう、ようちえんにはがまえないけれど
たいきらくなようちえんをだいすきにりこく
れたえんちょうせんせい、ありがとう。

んかんちずくとわすれなか。